

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成20年11月27日(2008.11.27)

【公開番号】特開2007-105973(P2007-105973A)

【公開日】平成19年4月26日(2007.4.26)

【年通号数】公開・登録公報2007-016

【出願番号】特願2005-298507(P2005-298507)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

G 1 1 B 5/73 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/36

G 1 1 B 5/73

【手続補正書】

【提出日】平成20年10月15日(2008.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも2層のポリエステル層を有する積層フィルムであって、一方の表面を構成するポリエステル層Aの中心線平均表面粗さRaAと、他方の表面を構成するポリエステル層Bの中心線平均表面粗さRaBとの比率RaA/RaBが0.05~0.7であり、ポリエステル層Bの環状化合物の含有量が0.8重量%以下であり、かつポリエステル層Bとポリエステル層Aの固有粘度の差が0.1未満である積層ポリエステルフィルム。

【請求項2】

ポリエステル層Aの環状化合物の含有量が0.8重量%より大きい、請求項1に記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項3】

RaAが0.7~7nmであり、RaBが2~20nmであり、ポリエステル層Bが不活性粒子を含有している、請求項1または2に記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項4】

有機粒子が不活性粒子として含まれている、請求項3に記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項5】

ポリエステル層Aの外側表面に微細粒子を含有する易滑被覆層Cが設けられている、請求項1~4のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項6】

ポリエステル層Bのカルボキシル末端基濃度が35eq/10⁶gより大きい、請求項1~5のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項7】

ポリエステル層Bの外側表面に被覆層Dが設けられている、請求項1~6のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項8】

ポリエステルがポリエチレンテレフタレートまたはポリエチレン-2,6-ナフタレートである、請求項1~7のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。

【請求項 9】

デジタル記録方式の磁気テープ用ベースフィルムとして用いられる、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の積層ポリエステルフィルム。